



## 町民サービスの向上と行政事務の効率化を図る

### 沖縄国税事務所長から感謝状贈呈

久米島町で相談・受付した確定申告書について、これまで紙媒体で税務署に郵送していたものを、データを送信するやり取りに変更したことで、町民サービスの向上（添付書類の省略や、所得税還付の早期受け取りなど）と事務の効率化が図られたことから、沖縄国税事務所長（代理：山田敏也北那覇税務署長）から、桃原町長に感謝状が手渡されました。

今後この取り組みを進めていくほか、e-Tax（電子申告）利用促進の啓発など納税者の利便性の向上を図ってまいります。

## SeaWaterDreamフェスティバル開催

去る年6月12日（日）「深層水の日」にSeaWaterDreamフェスティバルが3年ぶりに開催されました。会場では海洋深層水関連の商品の販売や施設見学ツアー、飲食出店にステージがあり、当日は沢山の方々にご来場いただきました。

コロナ過になりイベントの中止が続きましたが、久しぶりのイベント開催となり沢山の方々へ久米島の海洋深層水の魅力を知ってもらい、子ども達の日頃の成果を発揮する場ともなり大盛況でした。



サンゴ礁保全事業を支援するアラムコ・アジア・ジャパン代表取締役社長 オマール アル・アムーディ氏（左）と久米島漁協組合長 田端裕二氏＝22日、名護市の万国津梁館

## サンゴ礁の再生を目指して

### サンゴ養殖移植助成事業が始動

6月22日、万国津梁館（名護市）で開催された「アラムコ沖縄サンゴ礁保全基金サンゴ養殖移植事業」の始動報告会（主催：沖縄県サンゴ礁保全推進協議会）に久米島漁協の田端裕二組合長が参加し、事業始動の報告を行いました。

久米島漁協では今年度よりサウジアラビアの総合エネルギー・化学企業サウジアラムコの日本法人であるアラムコ・アジア・ジャパン株式会社の助成を受け、サンゴの養殖・移植やサンゴ礁保全に係る普及啓発等を実施しています。

## 久米島高校生 手話技能検定4級全員合格

5月16日、久米島高校の生徒5名（高見美緒さん・木本寧音さん・秋根いぶきさん・松田琉愛さん・塚崎夏美さん）が手話技能検定4級に挑戦し、見事に全員合格しました。

4級は『お店や窓口での簡単な接客会話や、日付・時刻・金額などの数字、感情・動物・スポーツ・地名などを表現したり読み取ったりできる』というレベルです。5名は昨年10月より自主的に「手話を勉強したい!」と集まり、毎週約1時間半学習を続け、今回の検定に臨みました。木本さんは「習う前から手話に少し興味があったのですが、難しいものから“こんなので伝わるの?!”というものまで、色々な学びがあり、教わって良かったです!」と話し、皆で頑張った半年間の学習を振り返りました。

